



議会だより

第16号

みなべ

平成21年2月1日

発行 みなべ町議会
編集 議会広報特別委員会
〒645-0002 和歌山県みなべ町芝742
TEL 0739-72-1334
FAX 0739-72-1335



今年もガンバルぞ(初稽古)

12月定例会

議会の新体制..... P2 ~3

議案審議..... P4 ~5

一般質問に9人の議員が登壇..... P6 ~14

常任委員会・管内視察..... P15

のスタート

20年第1回定例会で可決された14議員定数で新体制がスタートしました。
常任委員会も3委員会から2委員会となりました。
12月の定例会には、条例改正・副町長の選任・監査委員の選任・補正予算案が提出され議決されました。合併後5年目に入り、町の発展と町民の皆さんの幸せを願い、議員一丸となり誠心誠意努力してまいります。



副議長
山中 邦夫



議長
小川 猛

この度、副議長に就任しました。
今、金融危機の中で地域の経済も大変な状況です。又、地方自治体をとりまく情勢も、きわめてぎびしくなっています。
それだけに、町民のみならずの目線を大切にした議会活動、議員としての活動が必要だと思っています。
議長を助け、一生懸命がんばりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

このたび議員各位のご推薦により議長に就任させていただきました。誠に光栄でございますが、同時に責任の重さを痛感しているところであります。私共議会と執行機関、立場はちがっても目指すところは同じであります。
議会といたしましては、いたずらに摩擦を起こす事はもとより避けなければいけません。同時に安易に妥協に陥る事があってはならないと考えます。正しく相携え、不偏不党、公正無私の立場を堅持し、みなべ町発展のため努力することを約束しまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

事務組合議会議員

市町村が行う事務の一部を
共同で処理するため設置したもの

○ 田辺市周辺衛生施設組合議会議員

下村 勤

北谷 清治

岡 和雄

○ 御坊日高老人福祉施設事務組合議会議員

竹本 栄次

○ 日高広域消防事務組合議会議員

寺本 文雄

○ 公立紀南病院組合議会議員

小川 猛

山中 邦夫

○ 田辺周辺広域市町村圏組合議会議員

小川 猛

山中 邦夫

○ 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員

小川 猛

「みなべ町」新議会



天野 仁 議員



宮崎常二 議員



岡 和雄 議員



原田 覚 議員



竹本栄次 議員



森坂義明 議員



中井重雄 議員



田中昭彦 議員



寺本文雄 議員



下村 勤 議員



楠本誠二 議員



北谷清治 議員

(議席順)

みなべ町監査委員
議会代表として北谷
清治議員が全会一致で
選任されました。



議会運営 委員会

委員長 田中 昭彦

副委員長 岡 和雄

委員 竹本 栄次

下村 勤

寺本 文雄

中井 重雄

議 案 審 議

第4回定例会が12月8日から18日までの11日間の会期で開催されました。指定管理者の指定や、条例の一部を改正する条例についてまた、各会計の補正予算等20議案が上程され、最終日の18日に議案審議が行われました。その質疑の一部を報告します。

県住宅新築資金等貸付金回収管理組合の設立

Q その内容について。

A 県内の3市5町が回収業務等の事務を共同処理するための専門機関として一部事務組合を設立するものです。この組合は税回収機構のように滞納債権だけでなく、すべての債権を組合で扱います。

Q 21年度における、町の当初負担は。

A 246万円です。



ひかり保育所

みなべ町へき地保育所の指定管理者の指定について

Q 東岩代ひかり保育所の指定期間と現状は。

A 指定期間は、平成21年4月1日より平成24年3月31日までの3年間で、現在園児は36名です。

2歳から4歳まで4クラスで、保育時間は8時から3時までです。

国民宿舎の指定管理者の指定について

Q 指定管理者が3年から今回5年になつてくる根拠は。

A 営業活動を地道にやっていく必要があり、短期に効果が表れるというものではなく、中長期的に見た形の中で営業や経営面を考える必要があるといつことで、5年間に決めました。

国保の一部改正

Q 出産育児一時金の額を、3万円上限として加算となっているが。

A 分娩時に、重度障害になつた場合に適用されます。みなべ町は、4月から11月まで89名出生し、国保は40人です。該当するのは全国的に、1000人当たり2名程度とのことです。



国民宿舎



清川の町営住宅

撤去後の跡地利用

Q 清川地区の町営住宅撤去後の跡地利用は。

A 現在のところ考えていませんが、地域の方や各方面の方々と相談し、今後どのような格好にするか考えていきたいと思っています。

市内のデイサービスの状況

Q みなへ町内の民間も含めた、デイサービス利用者数、各施設でのサービスの違いは。

A ゆうゆう館は一日平均約26名、虹さんは約25名位とされます。サービス内容は経営方法等によりあるかもわかりませんが、介護保険で定められたものになっています。



ゆうゆう館

紀州備長炭振興館

Q 1年間の来場者数と施設の内容は。

A 来場者数は5233名で、内容は備長炭が一目でわかるパネル等を展示し、細丸、小丸、中丸など、色んな製品があり、窯出し道具や炭釜などを展示情報室に飾っています。また炭風鈴体験などの体験できる所、研修施設の3つの部屋があります。



造成地

黒潮フルーツライン

Q 造成された園地の地元受益者負担金は。

A 受益者36名の内、15年で償還する方は12名で、残りの方は一括償還するそうです。負担金の総額は4億4,638万8千円です。

浄化槽の整備

Q 合併浄化槽ですが、当初予算484万4千円計上されており、今回不足することですが、今までにどれだけの槽が実施されているのか。

A 現在12基で内訳は、5人槽4基、7人槽7基、10人槽1基で追加分2基をあわせて20年度は14基です。

県指定の文化財保護

Q 北道の丹河のイチヨウの木は。ウの木の保全委託内容は。

A 丹河のイチヨウの木の枝が、道路や隣の屋根にかかり、また歩く人が危険な状態でしたので、枝切りをするためです。



丹河のイチヨウ

町営住宅の改修

Q 昭和50年に建てられた改良住宅14戸、昭和52年の20戸は、年数からして重点的に調査をし、改修していく必要があるのでは。

A 構造上やらなければならぬ部分については、順次確認して今後の課題として考えていきたいと思っています。



町営住宅

日本一うめ産地 支援事業

Q 改植と樹勢回復の面積は、現在どのようになっているか。

A 20年度は改植事業で9畝、実施農家は61戸です。樹勢回復・土づくりで61畝の154戸の農家です。

一般質問

一般質問は12月11日に9人の議員が行いました。(質問者から提出された原稿どおり掲載しています)



山中邦夫 議員

小・中学校に 地元の先生を

質問

以前にも同じような質問をしました。今回、保護者や町民から「小中学校に地元の先生を」という要望を聞きましたので、改めて質問します。

教育長も一部の学校で「荒れ」が問題になっている中で、認識を深められたのではないかと思います。

もちろん、地元の先生を配置すれば、それで問題が解決するということではないと思っています。しかし、教育委員会として考えてみるべきことだと思えますのでお聞きします。

教育長

町内出身の先生とすることで各学校毎に調べてみました。

全体で112人中38人です。学校によってバラツキがあるというのは、問題があると思います。

各学校にも聞いてみました。やはり問題を抱えている学校ほど、地元の先生がほしいと。管理職、校長、教頭のどちらかは地元の先生が望ましいということでした。

私も初めての人事異動です。何ができるかわかりま

せんが、一生懸命、その辺りのことを強調してまいりたいと思います。

	南小	岩小	上小	高小	清小	南中	上中	高中	清中
教職員数	19	8	18	8	8	18	15	8	10
町内在住	2	3	9	4	1	2	8	5	4

質問

保護者のみなさんが「地元の先生」という場合、それは校区内に住む先生のことを指しています。

それで云いますと南部小学校には地元の先生はいないということです。

ですから、教育委員会としては2段階のとりくみが必要

だと思っています。

教育長としては、何もかも初めてのことで大変だと思えます。地域の教育のために頑張ってください。

他に、「みなべ町行政改革第一次実施計画」と「和歌山県行政改革推進プランについて」も質問しました。



南部小学校



田中昭彦 議員

行財政改革の 更なる推進を

質問

現在の世界同時不況の中、わが町の財政状況は厳しいものがあり、また、消費マインズの低下で、基幹産業の梅の将来にも影がさしていると言われている。その様な時に就任された小谷町長は、「聖域なき財政改革の推進」を言われ、私も全く同感であります。そこで行革の一環として、「ふるさと納税制度」を積極的に推進してはどうか。

町長

現在の実績は、6件の95万円です。少なく感じており、今後も町を挙げどんどんPRしていかなければと考えております。

倫理規定の制定

質問

今、国や県では、業者との付き合いを禁じた、倫理規定が制定されているが、中央官僚の腐敗振りには、目に余るものがある。わが町も、飲酒運転や行動規範を規定する「倫理規定」の制定を導入しては。

町長

時代の流れであり、また、頭で理解していても、誘惑の危険性もあり、今後文化を検討してまいります。

町民との直接対話

質問

町は多額の町債を計上しているが、町民に安心感を与えるために、直接対話をしてはどうか。

町長

町民への積極的な対話としてミニ集会を行いました。しかし全区は回っていないので、今後時間も見つけて実行し、町民の皆様が安心して頂ける町政を進めてまいります。



入札箱

町事業の入札で一般競争入札の導入を

質問

現在わが町の事業は、指名競争入札で行われている。事業の財源は税金であり、最小の経費で最大の効果を求められる。更に、透明性・公平性・品質の確保も追求されるものである。そこでこれ等を勘案して、指名入札から一般入札の導入を考える時期ではないか。国・県・田辺市では既に行っているが。

町長

今は馴染みの業者頼みがあります。一般入札ですと、品質の確保や確実な施行の担保が十分でなく、不良・不的確業者の排除が難しい。しかし時代の流れでもあり、一般競争入札導入の検討はしてまいります。

みなべ町第一庁舎

独自の高速SAで 梅の情報発信基地の設置を



天野 仁 議員

質問

梅産地の成熟期を迎えた今日、経営が厳しく後継者率も下がっている。

よって現状のPRに更なる日本一の「紀州みなべの南高梅」の地元へ、旅行者が買い求めやすい場所として、サーブリエリア(SA)に梅加工会社参画のもと、直売所や梅料理レストランを設ける必要があると思う。

意外と和歌山やみなべ町の場所は消費者に知られていない。

財源は千載一遇のチャンスである合併特例債を用いては。



印南SA(上り)

費用対効果もいい。新町長の政治生命をかけた事業として望む。

印南SA下り線を

町長

高速SAとインターチェンジの間隔を考えると新たに設けることは難しい。もし、検討するとなれば印南SA下り線側が空いているので、ここを利用し梅をPRして、次のみなべインターで降りてもらえることを期待しています。独自に設けるのは、公団との交渉は難しいと思います。



(下り)

長が先頭で 取り組めば

質問

SAやインターとの間隔で難しいでしょうが、今日、規制緩和は国民の間で常、正規の高速道路ではなく高規格有料道路であり、しかも地方の高速道路である。

生活面も含め都市と地方の格差是正の対応策として理解を求めながら条件整備を訴え、長が先頭になってもらえれば不可能も可能に成り得ると思うが。

一部社長さん方からも賛同を得ている。町の将来を見据えた発想も大事ではないか。

財政上難しい

町長

新たにSAを設けるのは、今の町の財政から見ても難しい。印南SA下り線の活用も持ち上がって、これを利用するのが早い。

みなべ町として優位な位置にあり、合併特例債の50億は合併協議会の際に、各種事業に全部当てはめているので、無理と思います。

梅の町、 存続のために

質問

関西方面のお客様がお土産を買い求めるには、旅行者として帰りの段階にというのが常識。カーラーを出すためにも、みなべ町エリアのSAであってこそ生きてくる。

行政・農家・加工業者とも、いいことだと思えるのであれば盛り上げながら努力していければいい。いままら梅の町を変えるわけにいかず守り存続していかなければ。

印南SAで検討を

町長

印南SAの下り線で、梅料理を食べていただくとかも含めPRし、みなべインターで降りていただくとか、帰りに上り線のSAで買い求めていただく等の検討を加えたい。農協・商工会等々と相談の必要があると思います。



下村 勤 議員

高野沼川線の トンネル改修

質問

このトンネルは昭和46年に改修され大変狭く水滴による交通事故も毎年何回か発生している。通学路の安全面からも早急に対策をしてもらいたい。

町長

非常に狭いということ、実は、実感しています。通学路であり診療所等へ向かう生活道路として、非常に必要性を感じているところでございます。

どついつ部分を、補助事業で導入するのか、やる工法についても色々とおもっています。

事業費については、ざっと5億円位要るかと思えます。

町単でやるには大きすぎますので、色んな補助事業を絡ませて、探しながらいきたいと思っています。

建設課長

このトンネルは施工後36年を経過しており、車道は4.5mと狭く、歩道に立っていたら、かなり怖いという状況であります。学校や農協、診療所などが、地域経済にとって重要な路線であります。

工法としては、今のトンネルを大きく拡張するか、又はオープンカット方式、もう一つはバイパスでもう一本トンネルを造る方法があります。

いずれにしても、国の補助金でやらざるを得ないと思っています。ただ言えるのは、非常に危ないトンネルであり、今後は事業費、安全性を考え地域住民の皆さんの理解、そういった色んな面で検討し、いい方法を考えていきたいと思っています。



改修を望む高城隧道

中学校統合計画について

質問

耐震補強と、老朽化が進んでいる南部、上南部中学校の今後の対策、少子化が右肩下がりに進んでいる今日、町内の4校について、今後どのように考えていくのか。

町の第一次長期総合実施計画では、町内一中学校とするとなっているが、そういったことを踏まえ教育委員会の今後の考えを聞きたい。

教育長

高城中は平成2年、清川中は昭和63年建設と、比較的新しいが南部中は39年建設で、築42年以上、上南部中は49年建設で34年が経過しています。簡易耐震診



高城中学校

断では、両校とも基準値を下回っており、早急な対応が望まれています。

また、上南部中については、補修にもかなり費用がかさんできます。生徒数についても平成元年には4校で、731人となっていました。20年5月には455人、今後も減少が進み24年の推計は、441人、25年では435人となります。

一気に統合するが段階的に行うのかは、今の状況では十分に考察できていません。今後、素案をつくったうえで、検討を重ねていきたいと思っています。

町民の健康診断について



中井重雄 議員



集団検診

質問

健康診断は健康状態をチェックするだけでなく、今後の健康づくりに役立つ情報が手に入る機会としてミニドック等の個別健康管理を奨励している。

これは「病気の早期発見」「早期手当」等高く評価できるが、2008年度では、「血液検査項目」が極端に少なくなっているのはどういふことなのか。総蛋白、尿酸、腎臓、貧血等が項目から外れているのではないか。また、心電図検査もないが、健康診断の予算切り詰めではないか。

町長

本年の健診については、特定健康診査、特定保健指導を実施しており、健診の方法が大きく変わりました。血液検査については、大幅に項目が少なくなっていますが、多くの町民から「増やしてほしい」とのお話もあり検討しております。心電図については、医師が必要と認めた方のみ実施しております。これらについては、法律により検査方法が変わったことが大きな違いです。

保健福祉課長

平成20年度は特定健康診査ということで実施しており、メタボリックシンドロームに視点を置いた検査となっております。該当者と予備軍の方をみつけ、特定保健指導を行い、生活習慣病を予防しようとする内容になっていきます。これは、みなべ町だけではなく、全国的に同様な内容で実施となっております。特定健康診査の必須項目として、脂質検査が3項目、肝機能検査が3項目、血糖値が1項目で計7項目となっております。また、貧血のある方は、医師の判断で4項目が追加されます。つまり、33項目から7項目又は11項目に減ったということでもあります。

また、心電図検査については、

医師が必要と判断した場合に実施しています。

職員採用について

質問

今大企業では景気悪化を口実に派遣労働者、期間労働者などの大量首切り計画が次々と進められているが、町では正職員を臨時職員におきかえて安上がりの人件費になるようにしているのではないか。今、臨時職員は何名の方がおられるのか、また、臨時職員を正職員に採用する考えがあるのかどうか。

来年度は、上南部保育所と南部幼稚園で2名の採用と聞いているが、毎年2〜3名の方を正職員にするような考えはないのか。

町長

現在臨時職員は43名で、正職員に移行する考えは今のところございません。ただし、職員採用試験に応募していただくことは可能であります。

新年度の2名につきましても、採用試験に合格された2名となっております。

職員採用については、定員適正化計画にそって進めていきたいと考えております。



庁舎内



森坂義明 議員

みなべ町 ごみ焼却場について

質問

昭和43年に現山内地区に設置、その後昭和47年に旧南部川村と旧南部町で環境衛生事務組合を設立。当地は元来目津崎、南部湾に浮かぶ鹿島、そのむこうに湯崎等が見え風光明媚な所、しかし焼却場用地が狭小のため植樹もできず施設がむきだし、景観が損なわれている。

煙突から80以上の所に民家があり、約1km内には130軒位半径を広げる毎に、民家は増す。そう云う立地状況で周辺住民は処分場が灰等で満杯になれば、焼却場は閉鎖になると思ってきた。

ところが過去3回してまた、今回搬出された。その間「煙が家を覆い悪臭で咳きこ



ごみ焼却施設

む」「灰が洗濯物にかかり干せない」「ハ工や野犬等々にも泣かされてきた。周辺住民は今日まで40年間よく辛抱し耐えてきたと思う。

町長の基本理念である「安心して暮らせる町づくり」とは、いろいろと講じる施策により住民みんなが心配することなく喜べ、公平・平等で暮らせる町につくりあげていく事かと思うが、周辺住民にはそう云う町づくりとは無縁のところに置かれているように思う。

そこで、早期打開が必要で。町長は焼却施設並び処分場についての考え、また、周辺住民に対してどう云う思いを持たれているのかをお聞きします。

町長

過去色々な問題等があり、地元の皆様には色々心配をかけ、また協力を頂いている事に深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

焼却施設については、今日までにダイオキシン、防塵・防音等々の対策をし、今後は田辺広域で場所選定、焼却炉の方法等をすすめていきます。

処分場は、国の交付金を受け安定型から管理型にすすめています。

一般家庭からの廃棄物は焼却場で焼き、灰は処分場へ埋



最終処分場

質問

周辺住民は一日も早い解決の時期を期待している。今までの苦勞を考えると、その時期はいつごろか。

田辺広域廃棄物対策協議会では供用開始が10年後を目途にすすめています。用地の選定、取得が現在でも予定よりかなり遅れているのが実情です。

住民環境課長

田辺広域廃棄物対策協議会では供用開始が10年後を目途にすすめています。用地の選定、取得が現在でも予定よりかなり遅れているのが実情です。

最終処分場計画



竹本栄次 議員

処分場処理

質問

全員協議会での説明と資料についてですが、平成19年度末に廃棄処分・運搬をしているので、1立法メートル当たり1、105トンでなく1、485トンであるとか分かっていったと思うが。

建設課長

想定は出来ましたが、採用しなかった理由の一つ目として、国の補助対象であることから、不確定な単位重量は採用出来ないかと判断し、二つ目として、業者に対し単位重量抑制に努める指導が出来る。三つ目に変更増が生じた段階で、金額の抑制(値切る)をすることが出来る。これらの事から、変更契約で対応する方が少しでも町の金を出すことを減額出来るのではないかと判断しました。



最終処分場

廃棄物の処分費

質問

平成19年度末の処分費と、平成20年度の処分費が違うのはなぜか。

建設課長

試験搬入で少量であるのでトン当たり税込み22、652円でありましたが、平成20年度の処分量は11、914トンと多く、三重県の処分場の延命を図るために、破碎選別をするということで、トン当たり税込み25、620円となりました。

廃棄物の運搬費

質問

同じく運搬費が違うのはなぜか。

建設課長

平成19年度末の運搬は急遽決定したので、ダンプの調達が速やかにいかず、税込み1台105、000円となりましたが、平成20年度分のは、扱い量も多く、事前協議をした結果、税込み76、650円となりました。

ダンプの台数

質問

資料の中で平成20年度分で一日約25台、延べ1、390台と書いてありましたが、説明では1、083台で運搬費を決済しています。307台分の運搬費はどうなったのか。

建設課長

三重県の処分場まで一日1回の運搬となり、町職員が毎日台数を確認しました。

それが1、390台で、利用したダンプは8トンから11トン積みで搬出をしました。積み込み場所には計量機がないため運搬台数が増えたと考えられますが、町の積算と契約は11トン積みであるため、307台の差が生じ、この費用は算定すべきでないと考えました。



委託契約

質問

処分・運搬にあたって、(株)大栄環境に委託契約をしましたが、契約をする前に指名審査会で精査したのか。

建設課長

審査会は、運搬及び処分場の委託業者の選定を行いました。参考資料として費用も報告されますが、審査会では、業者選定が主な業務です。

ごみ焼却場

質問

使用について、周辺地区の同意は何年度までか。

住民環境課長

周辺地区とは、何年度までとの協定書や覚え書きはございません。



三重県の最終処分場



岡 和雄 議員

財政状況等 新聞発表の窓口は

質問

我が町の財政について、近年の収支報告でも示されていますが、当年度決算では約4億円の黒字決算と聞いています。地方新聞によれば、実質公債比率が他の市町村と比較すれば21・5%と高く報じられています。この記事を見た町民は、赤字で潰れるのかと心配します。中身については、心配ないと町民に知らせる必要があると思います。当局では、新聞社が取材に来られた時点では、どんな方法で誰が新聞社と接見もしくは記者発表されているのか伺いたい。

町長

同関係への発表につきましては、職員個々に提供するのではなく、町の意見として、まとめて公表するようにしています。実質公債比率21・5%については、赤字町債を発行しているのではなく、あくまでも建設町債であることをご認識いただきたいと思っています。

総務課長

財政状況についての新聞報道は、9月下旬に取材があり、町財政の現況について説明を行いました。

現在、町の財政状況については毎年5月と11月に町広報紙などで公表しています。今後、公表するに当たっては、

町財政の現状を町民の皆さんに、正しく理解と認識をしていただくために、出来るだけ分かりやすく公表を行っていきます。

また、新聞社等のマスコミへの対応については、誤解を招かないように正しい情報をきちんと説明して、正確に伝えていきます。

実質公債比率については、合併前、合併後を通して積極的に町づくりに取り組んできた結果、公債費の負担増加につながっております。

今後は、新規事業を厳正して、必要不可欠な起債だけに絞り込んで、計画的な活用を図って、積極的に財政の健全化に努めてまいります。

質問

新聞社の取材で総務課長が受けたのか、それとも別の誰かだったのか、窓口を決めておいた方が良いと思うが、どう考えているのか。

総務課長

今回は、私は対応していません。今後の対応については、正確な説明をするためにも、私も含めて担当者共々対応して、正しい情報をきちんと説明してまいります。

公共事業について 事業採択の方法は

質問

公共事業について、当局では予算の設定はどのようにされているのか、なぜか予算設定や施工方法・施工場所等が少し矛盾に感じるところがあります。どのような方法で事業採択を行い、実施をしているのか伺いたい。

町長

公共事業の採択については、それぞれ各地域からの要望等がございます。

まず、担当課で事業効果、緩急度等十分検討いたしました。補助金等歳入面も検討したのち、費用対効果と財政計画を照合して進めています。

質問

北海道でトンネル工事が、出口になつてから頓挫した例があるが、我が町でもそういった場合には、まず調査をし完全に出来るという確信をもって工事を進めていただきたい。

町長

色んな事業を進めるに当たっては、まず、その用地の提供が確定した部分から進めるようにしたい、途中で止めることのないようにします。

この他、「予算編成について」の質問もしました。



建設中のみなべ新橋

国道424号線の改修について



北谷清治 議員

今後の取り組みは

質問

滝地内のトンネル工事も始まるようであり、島之瀬地内の3箇所の橋の橋脚工事も進んでおり、少しずつですが全体が見えてきた。また穂手見トンネルから清川石倉地内までの改修についても、21年度より県が設計に入ることであるが一日も早い完成に向け、新町長として今後どのように取り組まれるのか伺いたい。

町長

南部川谷工区と清川工区の同時予算組みは難しいと聞いているが、皆様方の県・国への要望活動の結果、県単独で21年度から具体的なルート上の調査検討を開始し、地元との調整を進める予定となっております。とにかくはやく着工、早期完成を目指し今後も要望活動を続けてまいります。

建設課長

滝地内のトンネルは平成22年5月が工



国道424号(木の川地内)

国・県への働きかけを

質問

9月の陳情で、国交省の県出身の官僚の方が「遠慮せんと、どんどん陳情に来た方がいいですよ」と云ってくれました。道路財源が一般財源化されるなか、なお一層の国・県に

期となっており、23年度完成に向けて順調に進んでいる。清川の部分については県は、21年度に概略設計をするが、用地については町と地元がタイアップして対応できるようにし、南部川谷工区が完成すればすぐに取りかかるような状況づくりを今後もやっていきます。

町長

対しての働きかけをお願いしたい。資源確保の要望は、町独自でも検討

し、やはり数多く行った方が効果はあるのかなと思っています。



清川保育所

清川保育所の改築について

質問

平成20年の5月、中国で大地震が発生し、多くの犠牲者を出した。日本でも特に紀伊半島沖で近い将来東南海・南海地震が起こるとも言われている。町内の小学校、保育所の耐震化が進められているが、特に昭和45年建設の清川保育所の改築が急がれているところである

町長

が、町長のお考えを伺いたい。清川保育所の耐震化については、調査費用等も考えれば改築かなと思っています。場所、時期等、また、肝心な財政面とも合わせて、前向きに検討してまいりたいと考えております。

常任委員会の構成

総務文教常任委員会

町の総合計画、財政、町有財産の管理、町税の賦課徴収、情報、消防防災、交通対策、社会福祉、保健衛生、保険介護、教育施設の管理、教育文化の向上、生涯学習施設の管理、他の委員会に属さない事務等についての事務並びに調査及び議案、請願、陳情等の審査をつかさどる。

委員長 竹本栄次
副委員長 天野 仁
委員 原田 覚

宮崎常二
寺本文雄
楠本誠二
山中邦夫



産業建設常任委員会

農林、水産、商工、観光の振興、環境衛生、緑地公園の管理、都市計画、道路橋梁河川の施設改良及び維持管理、住宅建設維持管理、地籍調査、災害復旧、水道管理、下水道整備等についての事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査をつかさどる。

委員長 下村 勤
副委員長 岡 和雄
委員 田中昭彦

中井重雄
北谷清治
森坂義明
小川 猛



全議員の管内視察

第4回定例会の会期中に、議員全員による管内視察を行いました。すでに完了している南部小学校や、現在進行中の国道424号（トンネル工事）など25ヶ所を視察し、担当課から説明を受けました。

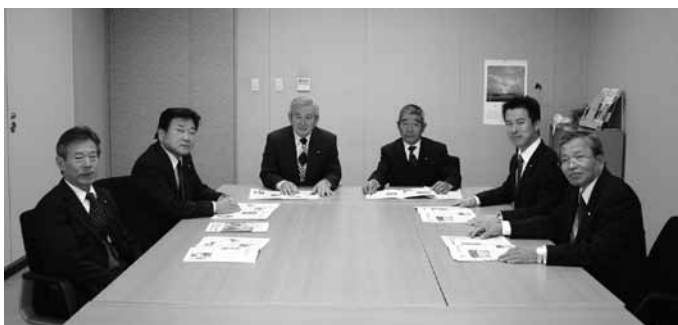


議会広報 特別委員会

委員長 下村 勤
副委員長 田中昭彦
委員 原田 覚

森坂義明
北谷清治
楠本誠二

議会だより「みなへ」を編集・発行しています。



サークル紹介

みなべハイキングクラブ



天橋立にて

ニットイング (編み物)



教室で

発足

平成15年7月

現在

代表者 望月 千喜美
指導者 望月 千喜美
会員数 9名

活動

第1・第3水曜日に、南部公民館で、午後二時～四時まで行っています。作品は、文化祭に出品したりしています。

発足

昭和59年7月

現在

代表者 坂口 仁彦
会員数 65名

活動

地域を知る活動の一環として、町内・近隣市町村でのハイキングの他、国内各地へも出掛けています。

その他会員外も含めた町民ハイキングも実施。

一言(ニットイング)

気軽に、自分のペースでやれます。自分だけの作品を作ってみませんか。又、脳の老化予防にもいいですよ。

一言(ハイキングクラブ)

主に自然の中を歩くコースで、伸び伸びと活動しています。町民ハイキングも実施していますので、是非ご参加下さい。

あとがき

町民の皆様には健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。私たち広報委員は、町民の皆様が議会に関心を持って頂けるよう、わかりやすく編集することを心掛け、第16号を発行させていただきました。

今後も、議会と住民を結ぶ議会広報の使命をはたし、我が町への関心を高めていただき、共に町の進むべき方向を考えてもらえればと願っています。ご意見やご感想をお寄せ頂ければ幸いです。
(下)